

63 ヨハネ 19 章 31-42 節

※イエス・キリストは十字架にかかれ、「完了した」と言われ、息を引き取られました。もう人としてのイエス様の存在はなくなりました。さあ、ここからどう事態は展開していくのでしょうか？

1、その日が備えの日、安息日の前の日であったことが記されています。(31)

・つまり何曜日で、何日だったのでしょうか？

(ヨハネ 18:39「過ぎ越しの祭り」の日は、アビブの月の 14 日とされています。そしてユダヤ教の安息日は土曜日です。)

2、過ぎ越しの祭りについて振り返り、そこに「イエス・キリスト」を探してみましょう。(出エジプト記 12;1-14)

3、この後、早く終わらせるために二人の強盗の足が折られたが、イエス様はすでに亡くなられていたため、足を折らずに、槍で脇腹を突き刺したと記録されています。ヨハネはこのことが預言の成就であり、「あなた方も信じるようになるためである」と証言しています。

・預言の言葉を読んでみましょう。詩篇 34:20 ゼカリヤ 12:10

・さて、私たちが何を信じるようになることを記録者ヨハネは意図していると思いますか？

4、刑にかけられていた者すべてが完全に死んだと確認された後、ある者たちがイエス様の体の下げ渡しを願い出たとあります。誰ですか？いくつかの御言葉からどんな人だったと分かりますか？また何が分かりますか？

・アリマタヤのヨセフとはどんな人？(マタイ 27:57-60, マルコ 15:43-46, ルカ 23:50-53)

・ニコデモってどんな人？(ヨハネ 3:1-15,19:39)

※100 リトラは約 30 キログラムとされています。

5、この二人に自分を重ね合わせて考えてみましょう。何を思いますか？

6、このところから神様（父、子、聖霊）はどのようなお方であるとわかるのでしょうか。